

アジア・汎太平洋国際障害者ピアノフェスティバル in 東京(前ピアノパラリンピック) 2015

日本代表選考会応募者募集要項

2015年7月21日(火) 於、東京文化会館リハーサル室。

CIPFD国際障害者ピアノフェスティバル委員会は、来る 2015年7月22日(水) 東京文化会館小ホールにおいて開催される「アジア・パンパシフィック国際障害者ピアノフェスティバル in 東京(前ピアノパラリンピック) 2015」日本代表選考会を開きます。これは「第4回アメリカ・ワシントンDC国際障害者ピアノフェスティバル2017年」のお知らせと、学習者の実力向上のために、各国からの代表とともに個性的な演奏を披露しあい、この運動を広めるために開催されるものです。

この国内大会で選ばれた者は7月22日(水)、東京文化会館・小ホール(リサイタルホール)で開催される

アジア・汎太平洋国際障害者ピアノフェスティバル in 東京(前ピアノパラリンピック) 2015 大会に

日本代表として出場演奏します。

1. **対象楽器:** ピアノ(ピアノを中心としたアンサンブルでも構わないが、応募者が中心のもの)
 - (1) **参加資格:** 音楽が好きで、かつ身体に障害のある方。年齢は問わない。
 - (2) **応募締切:** 2015年4月30日(郵送に限る。当日消印有効)
 - (3) **第2次審査推薦結果通知:** 2015年5月30日までに本人に FAX および文書で通知する。

- ② **参加申込:** 申込みについては所定の参加申込書を使用し、必要事項を楷書で記入のうえ、次の書類・品を添付して、後記の「CIPFD国際障害者ピアノフェスティバル委員会事務局宛」に郵便にて送付のこと。
- ③ 障害の個々のケースについては、参加部門欄の6グループから選び、自己申告のこと。添付書類として、身体障害者手帳、または療育手帳(東京都では「愛の手帳」)、もしくは精神保健福祉手帳の写し、あるいは医療関係者の診断書(以下一括して現状証明書という)のいずれかを添付すること。

添付書類・品

1. 録画資料: 本人が自ら演奏しているところを、20分を超えない範囲で、ノーマル速で録画したDVD。
2. 顔写真(約ヨコ9cm×タテ12cm)2枚 ※プログラム掲載にふさわしいもの。
3. 現状証明書(場合によっては「東京大会出場支障なし」の旨の専門医診断書提

出をお願いすることもある)

4. パスポート(写真つきページ)の写し ※日本国籍者は不要

④ 申込締切: 2015年4月30日(郵送に限る。当日消印有効)

⑤ その他

- (1) 一度提出されたDVD等の資料は、いかなる理由があっても返却されない。
また、これらの資料は当会(CIPFD)で大切に保存される。
- (2) ホテル、ホームステイ先、ボランティア等の紹介については、できるだけの便宜を図る(事務局問合せ)。
- (3) 参加のための旅行、滞在中における事故、疾病等に関しては、全て自己の責任において処理すること。
- (4) 審査費用: Aコース 10,000円 (CIPFD会員: 8,000円)
Bコース 10,000円 (CIPFD会員: 8,000円)
A+B 両コース 20,000円 (CIPFD会員: 16,000円)

ビデオ審査合格通知と同時に支払指示書を送ります。それに従い下記口座にお振り込みください。

三菱東京UFJ銀行

世田谷支店 130- 口座番号 0065466

口座名: トクテイヒエイリカツドウハウジンコクサイショウガイシャピアノフェスティバルイ
ンカイ

<参加コースと課題曲について>

コースには、AコースとBコースの二つがある。参加する者は、“Aコース”あるいは“Bコース”のいずれかを選択、あるいは両コース合わせて応募できるので十分準備すること。注*22日の国際大会はA, B, 両コースの演奏で披露されます。

1. Aコース

「技法の工夫と創作力向上をめざして、課題曲を編曲・演奏するコース。」

障害のグループ別には関係なく(所謂自由形)、障害のあるピアニストであれば誰でも参加できる。

(1) 第一次選考(予選): ・ビデオ審査

当実行委員会に提出された資料(書類、ビデオ等を)をもとに、第二次選考会出場推薦者を決定する。

- (4) 応募締切: 2015年4月30日(郵送に限る。当日消印有効)
- (5) 推薦結果通知: 2015年5月30日までに本人にFAXおよび文書で通知する。
- (6) 録画資料: 自由な曲(過去一年以内のコンサートの記録でもよい)を、20分以内で、ノーマル速でDVDに収録し、参加申込書とともに、事務局へ郵送すること。
- (7) 応募締切: 2015年4月30日(当日消印有効)
- (8) 推薦結果通知: 2015年5月30日までに本人にFAXおよび文書で通知する。

2. 第二次選考:日本代表選考会、演奏:2015年7月21日(火)、東京文化会館 リハーサル室

- (1) 課題曲: 山田耕筰「赤とんぼ」(添付楽譜参照)をテーマとして、5分以内に、ピアノ用に作曲・編曲したものを演奏する。自作、他作を問わないが、他作の場合は本人のために工夫されたものであること。
- (2) 楽譜提出: 審査用楽譜は、2015年6月30日(当日消印有効)までに事務局へ提出のこと。期日までに提出できないときは、失格となる。著作権は本人と当委員会の共有となる。

3. 表彰

素晴らしい作品と演奏、と認められたものには、次の賞が授与される。

1位 金メダル

2位 銀メダル

3位 銅メダル

2. B コース

自由曲(7分以内)を演奏し、精励した成果を発表するコース。進行は、できるだけ同条件のグループで演奏するため、以下の五つの部門に分けられる。

(1) グループ別

- ① 区分
 - a 知的 一障害部門
 - b 四肢 一障害部門
 - c 視覚 一障害部門
 - d 聴覚、言語一障害部門
 - e 発達 一障害部門
 - f その他、重複 一障害部門

② 部門の選択: どの部門にエントリーするかは応募者の自己申告による。

③ 評価: いずれの障害を問わず、純粋に演奏の音楽性、独創性、その障害がなければ生まれなかったもの、新しい工夫、を中心に評価する。各部門ごとに、ふさわしいと認めたものにそれぞれ、1、金メダル。2、銀メダル。3銅メダル。の各賞をあたえることもある。

(2) 一次選考(予選): 5月、ビデオ審査

- (1) 演奏曲目: 曲目は、7分以内の自由曲とする。但し時間内であれば数曲でも構わない。また、自作・他作・編曲、あるいはアンサンブルでも構わないが、必ず、応募者=ピアノが主のもので、経費は自己負担とする。
- (2) 応募締切: 2015年4月30日(郵送に限る。当日消印有効)
- (3) 推薦結果通知: 2015年5月30日までに本人にFAXおよび文書で通知する。
- (4) 注意: 特殊奏法、補助具使用、その他器具等は申込の際、必ず当委員会事務局に、文書で連絡すること。

(5) 7月21日予選会及び22日「アジア・パンパシフィック国際障害者ピアノフェスティバル in 東京(前ピアノパラリンピック)」日本代表に選ばれたものは、これらの器具等の準備、運搬、設置、後片付け等は各自で行うこと。

4. 第二次選考:日本代表選考会、演奏:2015年7月21日(火)、東京文化会館 リハーサル室

- ① 演奏は、2015年7月21日(火)、東京文化会館 リハーサル室 にて行う。
- ② 曲目は、7分以内の自由曲Bコースと、5分以内のAコース課題曲 両方(Bコースのみの場合自由曲)を準備する。但し、時間内であれば数曲でも構わない。
- ③ 日本代表に選ばれたものは、2015年7月22日(水)、東京文化会館小ホールにおける 「アジア・汎太平洋国際障害者ピアノフェスティバル」に日本代表として出演演奏する。

(4) 表彰

それぞれの部門ごとに、それにふさわしいと評価されたものに1、金賞 2、銀賞、3、銅賞、さらに、次の賞が授与される。評価によっては複数の賞が授与されることもある。

- ① 「独創賞」 表現・奏法が独創的であるもの。
- ② 「練磨賞」 熟達度が高いもの。
- ③ 「藝術賞」 深い芸術的感動を呼ぶもの。
- ④ 「貢献賞」 療法的貢献度が高いと見られるもの。
- ③ 「特別賞」 特別に審査員によって意味があると認められるもの。
- ④ 「オーディエンス賞」 聴衆から最も支持を得たもの。

(5) *日本代表選考について:

ピアノパラリンピックの精神にのっとり、A及びBコースの演奏を通して、国際障害者ピアノフェスティバル委員会及び同委員会が委嘱した国際審査員により厳選の上、最もこの運動の発展にふさわしいと思はれる演奏家を推薦する。

選ばれたものは 翌日22日開かれる国際大会に 日本代表として参加し演奏する。

CIPFD 国際障害者ピアノフェスティバル委員会

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-28-8 国立音楽院内

事務局 Tel: 090-8940-3496(代表) Fax:03-6760-4042

e-mail: tokiosakoda@nifty.com

<http://www.cipfd.com/> <http://www.cipfd/jpn/index.html>